



# 長門の話題 Topics

県内初「ふるさと名物応援宣言」

## 地域資源の開発を支援します

8月29日(月)、県内で初めてとなる「ふるさと名物応援宣言」が市役所で行われました。「ふるさと名物応援宣言」とは、ふるさと名物を特定し、開発や販路開拓などを行う取組に対し、地域をあげて情報発信し、推進するものです。長門市では「食物がつなぐ長州どりに代表される農林水

産物などのコラボ商品群」「長門温泉郷五名湯で長門を味わう観光プログラム」をふるさと名物として応援することとしています。応援宣言に合わせ、フジミツ株式会社と深川養鶏農業協同組合が開発を進める地域資源を活用したコラボ商品の試食会も開催されました。

西日本やきとり祭りin長門

## へご当地のやきとりに舌鼓

8月27日(土)、28日(日)の二日間、湊魚市場を会場に「西日本やきとり祭りin長門」が開催されました。北は長野県から南は沖縄県まで、西日本のやきとり店12店舗が長門市に集結し、訪れた約2万8千人の来場者は各地のやきとりを食べ比べるなど、こだわりの味を堪能しました。



▲各店舗前には多くの行列が並んだ



▲左から末永組合長(深川養鶏)、大西市長、藤田代表取締役社長(フジミツ株)



▲開発が進められている長州どりとかまぼこのコラボ商品群

海上の体育祭「すいこうレガッタ」

## 息を合わせ、力強く漕ぐ

9月3日(土)、大津緑洋高校水産校舎の体育祭「すいこうレガッタ」が開催されました。今年で23回目となる体育祭は「カッターレース」と「ペーロン競漕」の2種目が実施され、息を合わせて力強く漕ぐ姿に、見守る生徒や保護者から大きな声援が送られました。



▲仙崎湾を舞台に熱戦が繰り広げられた

# 長門の People

三世代で臨んだ、伝統の舞。

上田修治さん

(江良楽踊り 胴取) 東深川江良区



旬な人

9月10日、赤崎神社楽棧敷で奉納された芸能の一つ「楽踊り月の前の伶楽」。420年の歴史を持つこの踊りは、藤中区と江良区が一年交代で奉納しています。今年、太鼓で全体のリズムを生み出す大役「胴取」を務めたのは、江良区の上田修治さん(41)。胴取での出演は4回目ですが、今回は父の久治さん(69)が「のぼり持ち」、長男の一誠さん(12)が「杖遣い」、二男の一輝さん(10)が「かね打ち」を担当し、三世代で臨むことになりました。

かつて胴取を務めた久治さんが見守る中、修治さんは宝冠と呼ばれる花笠をつけ、飛び跳ねるような舞を披露。華やかな衣装をまとった一誠さんと一輝さんも立派な踊りを見せました。「同じ話題で家族が会話でき、一緒に一つの目標に向かってがんばれたのが良かった」と修治さん。一誠さんは父の背中を見て「いつか胴取をやってみたい」と話したそうです。親から子へ、伝統の舞は受け継がれ、これからも秋の楽棧敷を彩ります。



▲左から久治さん、一誠さん、一輝さん、修治さん

## 長門市中学生海外派遣(あすへの翼プロジェクト) 中学生2人が研修の報告

9月13日(火)、海外派遣研修の参加者2人が大西市長のもとを訪れ、報告を行いました。訪れたのは林拓夢さん(深川中3年)と上田彩花さん(日置中3年)で、8月7日から17日間、アメリカ・ユタ州に滞在し、現地の学校で受けた授業内容やホストファミリーと過ごした休日について、市長に報告しました。



▲将来は英語の教員になるのが夢と語る2人

## 「人」と「仕事」をつなぐ拠点に

ヤマネ鉄工建設株式会社に感謝状贈呈

8月29日(月)、大西市長からヤマネ鉄工建設(株)へ土地・建物の寄附に対する感謝状が贈呈されました。このたび寄附を受けたのは、仙崎にある旧(株)ミラノインダストリー施設で、市では施設を改修し、「人」と「仕事」をつなぐ拠点施設として整備する予定です。



▲山根正寛代表取締役役に感謝状が手渡される